

平成 24 年 11 月 2 日

## J R R - 3 及び J R R - 4 をご利用の皆様へ

日頃から当部の研究炉 J R R - 3 及び J R R - 4 をご利用頂き、また、格別のご高配を賜り、深く感謝しております。

さて、東日本大震災に伴う J R R - 3 及び J R R - 4 の現在の状況についてお知らせします。

### 1. J R R - 3、J R R - 4 の再稼働までの規制プロセス

- (1) 原子力規制委員会に施設の健全性評価結果（点検及び耐震解析による評価結果）を報告
- (2) 原子力規制委員会による当該報告書の確認
- (3) 報告書が安全上適切と判断された後、施設定期検査受検

### 2. J R R - 3 の現在の状況

J R R - 3 は復旧が完了し、既往の安全基準に照らして全て健全性が確実に became ました。健全性確認報告書につきましては、所定の機構内手続きを完了し 11 月 2 日に原子力規制委員会に対し報告を行いました。この後、上記「1.」の(2)及び(3)のプロセスが行われます。また運転再開への住民理解を得るための活動も必要と考えています。

平成 25 年度施設供用課題募集につきましては、J R R - 3 も供用対象施設・設備として募集をさせていただきますが、既述のとおり来年度の運転計画が未定のため、採択された課題にあっても状況によりご利用いただけない場合があります。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

### 3. J R R - 4 の現在の状況

健全性確認報告書作成にあたり、J R R - 3 の地震波観測記録を用いて J R R - 4 原子炉施設の地震波を評価し、耐震解析評価を現在実施しているところです。また、施設の点検・試験による健全性確認についても作業を行っております。さらに、点検の結果、補修が必要な部位に対しては復旧工事等を進めております。これらの中には、時間を要する「設置許可の変更」並びに「設計及び工事の方法の認可」という規制手続きを経ないと実施できないものもことから、平成 25 年度の施設供用課題募集は行わないことと致しました。

研究炉利用者の皆様方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

独立行政法人 日本原子力研究開発機構  
東海研究開発センター 原子力科学研究所  
研究炉加速器管理部

丸尾 毅